

4 社会、時代、情勢の検討「社会の見方・とらえ方」にもとづき評価・検討

事例の背景には、患者さん個人の努力や選択だけではどうにもならない、社会的な要因や構造が存在することがあります。

民医連の看護は、こうした社会の現実を「いのち」「憲法」「綱領」の視点で捉え、患者さんの困難の根源に目を向けることを大切にしてきました。

「社会の見方・とらえ方」は、事例をより深く理解し、看護の実践が社会の中でどのような意味を持つのかを明らかにするための視点です。貧困、労働、家族、医療制度、地域資源など、患者さんの生活に影響を与える社会的要因を整理し、看護として見逃してはならない課題を浮き彫りにします。このプロセスは、民医連の看護の社会的使命を再確認し、次の実践や組織的な取り組みへとつなげる重要なステップです。フィールドワークや研修会などで活用してください。

Step1 テーマを決定する

- ・社会問題、政治・経済情勢などで疑問を持ち、深めたいと考えた事柄からテーマを決定します。（例：水俣病、福島原発問題、戦争法、過労死、子どもの貧困、奨学金制度など）

Step2 情報収集

- ・文献検索やフィールドワークなどの現地調査、アンケート調査、面接調査など、調査研究活動を行いテーマに関する情報を収集します。

Step3 情報整理・考察

- ・「いのち」「憲法」「綱領」の視点で情報を整理します。
- ・「いのち」「憲法」「綱領」にてらして考察します。

Step4 民医連の看護の継承・発展を検討する

- ・調査・研究でわかったこと、残された課題などを明らかにします。
- ・民医連の看護を継承・発展させるための重要な事柄を導き出します。

